

(1)COVID-19 患者における PCR 検査陽性期間の関連因子の検討

渡 直和^{1,2}, 松本 奈穂子¹, 眞田 哲郎^{1,2}, 泉 祐介¹, 若林 優¹,
谷脇 雅也¹, 大橋 信之^{1,3}, 山崎 正弘¹

1 広島赤十字・原爆病院 呼吸器科

2 広島大学病院 呼吸器内科

3 大橋内科医院

連絡責任者 Corresponding Author

松本 奈穂子

(2)要旨

COVID-19 の診断に PCR 検査は有用だが，症状改善後も PCR 検査陽性は続くことがあり医療施設内での隔離解除の判断が難しくなることがある．今回，当院の COVID-19 入院症例 226 例（2022 年 1 月 1 日から 2023 年 5 月 8 日）の患者背景を抽出し，PCR 検査陽性期間に関連する因子を検討した．高齢，糖尿病，血液悪性腫瘍，悪性リンパ腫，B 細胞枯渇療法といった免疫抑制状態の症例では PCR 検査陽性が有意に延長していた．これらの症例では長期のウイルス排出が報告されており隔離解除には注意が必要である．

(3) キーワード，短縮タイトル

新型コロナウイルス感染症，PCR 検査，血液悪性腫瘍，悪性リンパ腫，B 細胞枯渇療法

Coronavirus disease 2019 (COVID-19), Polymerase chain reaction test, Hematologic malignancy, Malignant lymphoma, B cell-depleting therapy
COVID-19 PCR 検査陽性期間